

# 増川の黒仏さん

昭和六十二年四月五日号

増川三丁目の円照寺に「黒仏くろぶつ」と呼ばれる  
仏像があります。これは、高さが九十せうじゅうぐ  
らいで、ヒノキの一刀彫りで作られ、お寺  
の初代ご本尊でした。今回はこの「黒仏さん」  
に伝わるお話です。

## 落馬させる仏さま

昔、増川・江尾の一带は浮島沼が広がり、  
根方街道は北の山すそを周るようになりまし  
た。当時、根方街道は重要な道で、旅人も多  
く往来しました。

いつのころか、馬に乗った旅人が円照寺の  
前を通るとき、寺のご本尊の方を向いて礼を

しないと、必ず落馬すると言われるようにな  
りました。

馬に乗った旅人は、必ず礼をして通りまし  
たが、ある日、「そんなばかなことがあるか」  
という旅人が礼をせずに通りました。すると、  
やはり落馬してしまいました。

## 仏像を北向きに

なぜ落馬するのが理由がわかりませんでした  
たが、あるとき、住職が道路の方を向いてい  
たご本尊の仏像を、反対の北向きにしてみま  
した。

すると、その日から落馬する旅人がなくな

つたといふことです。

## 信心深かった地域の人

円照寺の住職 日比光生さん

円照寺の住職日比光生さんは、「お寺を改築するまで、黒仏さんを北向きに安置しておく場所が本当にありました。今は南を向いています。この仏像の特徴は、自然に黒くなり目を閉じている点かな。詳しいことはわかりませんが、仏師の作ではないようで、昔、この地域の人がいかに信心深かったかがわかります」と語ってくれました。

